可撤式装置

自分で取り外せる拡大床や機能的矯正装置等

拡大床は主に歯列の幅などを調整します。機能的矯正装置は成長期の顎の位置や口の周りの筋肉の働きを利用し、歯とかみ合わせの改善を図ります。効果には個人差があります。



可撤式装置の例　機能的矯正装置と拡大床
写真：ASO International 公式サイト

01 装着時間を守ってください

1 日 10 時間以上装着してください。装置や治療計画によっては、さらに長い装着が必要です。10 時間で十分とは限らないため、具体的な時間と時間帯は、患者さんごとの治療計画・担当医の指示に従って使用してください。

02 着脱とねじの調整

教わった位置を持ち、丁寧に着脱してください。かんではめ込むことや、舌での出し入れは避けてください。拡大ねじは指示された場合だけ、指定の方向・回数で調整し、自己判断での追加は避けてください。

03 食事と毎日のお手入れ

食事中と歯みがきの際は装置を外してください。装置は水と柔らかいブラシで清掃してください。熱湯は避け、材質に合う洗浄剤を使用し、外したら水気を取り、専用ケースに保管してください。

04 痛いときや入らないとき

初めは唾液が増え、話しにくくなる、違和感を感じることがあります。強い痛み、傷、破損、装置が浮く・入らない場合は無理に使わず、早めに連絡してください。別の装置が必要になることもあるため、担当医が経過を確認します。

毎日の装着時間を記録し、来院時には必ず装置を持参してください。

装置や部品がのどに入り、息苦しさや激しいせきがあるときは、直ちに救急受診してください。

Ortho & Oral JOURNAL
© 2026 Ortho & Oral Journal